

平成27年度
自己点検・評価報告書



平成28年7月

学校法人つくば総合学院
つくばビジネスカレッジ専門学校

1. 教育理念・目標		点検 評価結果
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)。	4
2	学校における職業教育の特色は何か。	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3
取組状況 (課題含む)	学校の理念、目標、育成人材像等は、ホームページ上で公開し、入学後のオリエンテーションにおいて学生には周知している。また入学前の学校説明会においても、保護者を含めた入学希望者に説明をしている。	
改善策	引き続き入学前の保護者説明会や学校説明会において、学校の教育理念等の理解をして頂くよう努める。また学科別の講師懇談会においては、業界情報交換を図り、教育目標に反映できるよう講師間の連携を図る。	
学校関係者委員会 での意見	特に意見なし。	

2. 学校運営		点検 評価結果
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか。	3
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4
取組状況 (課題含む)	運営方針、事業計画に等については、理事会・評議員会で承認を得て、適切に運営されている。組織体制については、教職員会議で全員に周知している。情報公開は、ホームページ上で行い、学籍管理は、専用システムを導入済みで適切に運用されている。	
改善策	年度途中での教職員の退職がみられ、補充に時間を要することもあり、採用計画を見直し、組織運営を安定したものにしなければならない。	
学校関係者委員会 での意見	学校運営は安定してきているが、今後は中長期的な運営計画が必要になるのではないか。	

3. 教育活動		点検 評価結果
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	3
7	授業評価の実施・評価体制はあるか。	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	2
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3
取組状況 (課題含む)	各学科の教育課程は、教育理念に基づき編成されている。年度により学生の基礎学力が低下しているため、放課後や長期休業期間における追加学習等で補っている。また年間2回開催される講師懇談会においては、各講師の意見を参考にカリキュラムや検定試験の見直しを図り、年度末には、学生全員による授業評価と保護者からのアンケートを実施して、各課題についても取り組んでいる。教職員の研修については、参加できる分野に偏りがある。	
改善策	各講師間の情報共有を強化し、学習進捗度の遅い学生への個別指導を検討する。また授業評価等は集計後早めに教員にフィードバックし、目標管理チェック表に記載し改善していく。教職員研修について、各学科で課題となる分野への研修参加を促していく。	
学校関係者委員会 での意見	授業評価や保護者アンケートの実施は評価できる。教職員が問題意識を持って、優先順位をつけて、計画を立てて改善することを期待する。教員研修においては、実務経験年数にもバラツキがあるため、授業の平準化を図るために、関連団体との連携による教員研修の参加を望む。	

4. 学修成果		点検 評価結果
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3
取組状況 (課題含む)	就職率は、約93%の実績となっている。資格取得については、各学科の年度計画で明確になっており、不合格者については、再受験のための特別補習時間も設けている。退学率は、約3%と低減がみられた。卒業生については、卒業後の把握が十分ではなく、就職課による定期訪問により把握できている。	
改善策	就職課による定期的な企業訪問により、卒業生の同行を把握するとともに、企業の求める人材像などの情報収集活動を行っていく。	
学校関係者委員会 での意見	資格取得率が低下し、高資格が取得できなくなっている。問題点を精査しカリキュラムや目標資格の変更を検討しなければならないのでは。また地元の企業や医療機関との関係強化のため、定期的な企業訪問や卒業生訪問により、関係強化を図って頂きたい。	

5. 学生支援		点検 評価結果
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか。	3
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3
6	学生の生活環境への支援は行われているか。	3
7	保護者と適切に連携しているか。	4
8	卒業生への支援体制はあるか。	3
9	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4
取組状況 (課題含む)	進路・就職については、クラス担任及び就職課が連携をとり、年間就職研修スケジュールに基づき支援している。学生相談については、主としてクラス担任が担当しているが、カウンセラーの必要性があるものの対応できていない。高等学校とは、出張授業や模擬面接指導などで連携を図っている。	
改善策	カウンセラーが必要と思われる学生については、学校全体での対応を図り、保護者協力のもと、早期に専門機関での受診を促していく。	
学校関係者委員会 での意見	学生の状況が多様化していく中で、学生相談や学生指導に関する研修などへ教職員を派遣をしてみてもどうか。	

6. 教育環境		点検 評価結果
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4
3	防災に対する体制は整備されているか。	3
取組状況	施設・設備は、各学科の希望により適時、導入・入れ替えを図ってきている。校舎建築後20年が経過し、空調設備などの老朽化により故障が目立ってきている。インターンシップは、一部の学科で実施しているが、就職実績等に効果が出てきている。つくば市消防署には消防計画を提出し、規定の設備点検も実施している。	
改善策	老朽した設備関連の入れ替えを計画的に行う。また省電力化のため、LED照明への交換も検討課題とする。	
学校関係者委員会 での意見	優先順位をつけて計画的に設備の入れ替えをお願いしたい。	

7. 学生の受入れ募集		点検 評価結果
1	学生募集活動は、適正に行われているか。	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4
3	学納金は妥当なものとなっているか。	4
取組状況 (課題含む)	学生募集は、各種広報物、ホームページ、高校生向けオープンキャンパスなどにより、本校の特色や教育成果を的確に伝えている。学納金は、監督官庁に届け出た適正な金額を明示し、また入学前の保護者向け説明会においても、適切に説明をしている。	
改善策	検定実績、就職実績等、適切に情報発信し、入学希望者が安心して進路選択ができるような募集活動を継続して行っていく。	
学校関係者委員会 での意見	少子化時代に伴い、安定した学生募集をお願いしたい。	

8. 財務		点検 評価結果
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか。	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか。	4
取組状況 (課題含む)	学校の財務は安定しており計画も適正である。今後の安定化については、引き続き入学生の確保が必要となる。財務については、顧問計理士に適時相談している。財務情報については、ホームページ上に公開している。	
改善策	入学生の確保も重要であるが、少子化時代により、学び直しを希望する社会人経験者の獲得も必要となる。また年度途中で退学する学生の低減については、全校における重要な課題と位置付ける。	
学校関係者委員会 での意見	専門学校収入は、学生生徒納付金が主なものであり、入学生の継続確保をお願いしたい。学校設立後20年が経過しているため、老朽化や耐用年数が経過している各種設備の計画的な入れ替えを検討して頂きたい。	

9. 法令等の遵守		点検 評価結果
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3
4	自己評価結果を公開しているか。	4
取組状況 (課題含む)	専修学校設置基準をはじめとする関係法令に基づき、学校運営はされている。また各種届出・報告書類等は、茨城県総務部総務課私学振興室に提出している。個人情報については、特定の職員が取り扱うなど、十分に配慮している。自己評価については、報告書としてホームページ上で公開している。	
改善策	取り扱う情報量が多岐にわたるため、教職員における法令順守が益々求められる。同分野の研修計画も立案していかなければならない。	
学校関係者委員会 での意見	マイナンバー制度も導入されたので、教職員への個人情報保護や法令順守の啓発を図ってもらいたい。また企業や、医療機関にインターンシップに出る学生についても同様である。	

10. 社会貢献・地域貢献		点検 評価結果
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	3
取組状況 (課題含む)	各団体からの要請により検定試験会場や高等学校等の連携により、施設の貸し出しを行っている。民間企業や公的機関からの講師派遣要請に応じている。	
改善策	継続して施設貸し出し等社会貢献は実施していく。また地元向けのイベント企画を次年度以降計画的に実施していく。	
学校関係者委員会 での意見	地元密着の専門学校として、各分野の講座開催を検討して頂きたい。	